

環境
保全型
農業

丹波の恵みと彩りを大切に
環境に配慮した持続可能な農業を

兵庫県丹波篠山市

株式会社丹波たぶち農場



取組内容

- 主力である米は生育期間中は農薬を使用せず栽培し、イチゴ狩りや黒大豆枝豆の収穫体験、市民農園の開設、黒大豆でのGLOBAL-GAP認証取得等広範囲にわたり活動。農薬や化学肥料を削減した土づくりを行い食味が向上。
- また、法人化することにより、生産部門と経営部門の役割分担が明確となり雇用の創出、分業化を実現。

取り組みに至った経緯

- 代表の清彦氏が昭和40年代に1haの規模でなすやピーマンの生産を開始、長男真也氏、次男泰久氏が就農したのを契機に平成14年に農事組合法人を設立。
- 現在水稻65ha、黒大豆(枝豆含む)10ha、小豆等5haを栽培、従業員5名、パート8人、季節雇用数名。

取組の成果(受賞等)

- 経営の中心である真也氏が、エコファーマー認定、丹波篠山市認定農業者、農産物登録検査機関、県下大規模農家で構成する(株)兵庫大地の会副社長等。

今後の展望

- 経営面積や受託面積の増加が想定されるので、スマート農業の積極的な活用や生産技術の向上による生産物の高付加価値化、黒大豆以外におけるGLOBAL-GAPの認証取得が目標。



丹波黒大豆枝豆の収穫体験